

くまもと農業・最適化推進運動に係るモデル地区の取組み

農委会名：菊陽町農業委員会

1 モデル地区の概要

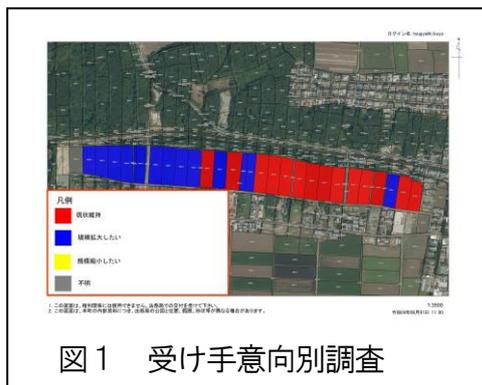
- (1) 地区名：原水上鉄砲小路地区
- (2) 地区内の農地面積：6.7ha
- (3) モデル地区を担当する農業委員数及び推進委員数
 - ① 農業委員数：1人
 - ② 推進委員数：2人

2 地区の実態を踏まえた取組みの方向

基盤整備済みの農振農用地について、地域計画策定時の委員等の動きを想定し、アンケートの配布から目標地図素案の作成までの動きについて、モデル地区を通して検討する。

3 取組みの概要

該当地区担当の農業委員・農地利用最適化推進委員が自らモデル地区の概要と取組の趣旨を説明し、地権者及び耕作者にアンケートを配布し回収。その後事務局にてアンケート内容を集計し、目標地図の素案イメージを作成した。



4 取組みの成果（できるだけ数値を用いながら、具体的に）

当該地区は実質化された人・農地プランの中心経営体が多く耕作している地区であることから、現状維持または規模拡大を志向する農業者のみであり、地元委員が直接関与したことから、アンケートの回収率も非常に高かった。

受け手・出し手の意向把握件数 15件中14件 回収率93%

5 課題と今後の方針等

目標地図素案作成までのイメージはできたため、今後は農地の集積・集約についての協議を行う必要がある。

しかし、集約に前向きな耕作者は8件中3件にとどまったため、まずはこの3件で農地の交換等を行い、集約化に取り組むのか、残りの5件が必要と考えるまで協議を行うかを決定する必要がある。